

## 健診検査センターニュース

No.467 号

## 運営委員会より

3月15日（木）平成 23 年度第 1 2 回の委員会を開催いたしました。

1. 特定健診 2 月の実施件数は、下記のとおりでした。

	2月受診数（前年比）	累 計（前年比）	函館市国保受診率 2月現在 20.3% / 目 標 30.0% 達成率：67.7%
函館市国保	1,314 人（+334）	11,565 人（+1,239）	
後期高齢者	334 人（+ 88）	2,456 人（+ 468）	
その他	85 人（- 29）	1,794 人（+ 25）	
合 計	1,733 人（+393）	15,815 人（+1,732）	

個別健診実施機関：97 施設 / 登録機関 111

- 2 月は、受診勧奨ハガキの送付により受診者の大幅な増加となりました。3 月におきまして駆け込み受診が続いています。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2. 24 年 2 月の健診検査事業収入は、下記のとおりでした。

	2 月（前年同月比）	23 年度累計（前年比）
一般検査収入	100.9 %	99.7 %
健診収入	150.7 %	114.0 %
合 計	115.3 %	105.4 %

3. 函館市医師会員・家族並びに従業員の定期健康診断（二期目）の実施報告がありました。  
26 医療機関から 113 名の受診があり、23 年度は一期目、二期目合わせて過去最高の受診者数 460 名となりました。

4. その他

- ① 平成 23 年度（第 45 回）日本医師会臨床検査精度管理の成績は、100 点でした。  
② 公益法人移行に伴う役員改選期の変更により、運営委員の任期を 6 月まで延長となる旨の報告がありました承されました。

## 《 ちょっと一言 》

こんな季節に大雪に見舞われ、今年は本当に雪が多かったですね・・・。  
これから、やっと春らしい気候になってくるようです！！  
長かった・・・。

さて、診療報酬改定を目の前に控えておりますが、これから、また、色々変更の手続きやら準備やらで、大変になってきますね。

先日、札幌で開催された「第3回日医連医政活動研究会（北海道ブロック研究会）」に出席して、診療報酬改定の裏話をちらっと聞いてきました。

（少し曖昧な部分はありますが、お許し下さい・・・。）

当初、財務省は断固として、マイナス改定にするつもりだったようです。そこを当日、講師としてお招きしていた櫻井先生や日本医師連盟の働きにより、財源の確保案などを考案して「なんとか少しでもプラス改定に！！」ということで勝ち取ったようです。

民主党（政府与党）保健部会（←ここら辺がちょっと曖昧です・・・）のような、会議があり、この場で財務省から診療報酬改定の概略を説明され、協議するらしいです。

普段は20～30名位の出席人数らしいのですが、この時は、日本医師連盟から各都道府県医師連盟に「各地方選出の民主党国会議員をこの会に出席させるように・・・」という通達がなされ、結局、100名近い議員が出席し、財務省案に反対という立場を示し却下されたらしいです・・・。

民主党が・・・とか、自民党が・・・とか、政党に関して云々言うつもりは全くありません。

ただ、この事からも「医政活動」の必要性和重要性を改めて感じて帰ってきた次第であります。

今回の「第3回日医連医政活動研究会」は函館でもTV会議システムを使用して、聴講できるようにしたわけですが、御聴講して下さった先生方に改めて感謝申し上げます。

講師の櫻井先生のお話は、今回もキレキレで大変ためになりましたし面白かったです。（全ての公式の会が終わってからの飲み会の方が断然面白かったのですが・・・）

ただ、討論会ではコメンテーターの先生方のお話が長く、時間が足りなくて、来場された先生方のご意見を全然拾い上げる事ができなく、消化不良の感があり残念でした・・・。

当日の様子は、北海道医師連盟のホームページと道医連ニュース版に載せる方向のようですので、お聞き逃しの先生方は、是非、チェックしていただければと思います。

さあ、そろそろ春も近づき、新年度を迎えます。

特定健診も昨年に比べ順調に数をのばしております。今後も多々応援の程、よろしく願いいたします。

今年度のラストスパート頑張ってください！！（・・・と、自分に言い聞かせ原稿を書いています・・・笑）

（文責 広報部 平山繁樹）

## 新規実施項目のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。  
さてこの度、下記の検査項目を新規受託することとなりましたので、お知らせ致します。  
何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

**開始日**：平成24年4月2日（月）より開始

**開始項目**：3396 糞便中ヘモグロビン及びトランスフェリン

依頼方法	新しい総合検査依頼書を出来るまで間は追加項目欄に、「便中Hb・Tf」とご記入ください。	
検査方法	金コロイド法	
採取容器	㊟ 便中ヘモグロビン容器で同時測定	
基準値	ヘモグロビン(Hb)	99 以下
	トランスフェリン(Tf)	49 以下
所要日数	1 日	
実施料 (判断料)	56 点（「D003」糞便検査の「8」） (尿・糞便等検査判断料 34 点)	
備考	≪同時測定の有用性≫ Hb と Tf を測定することで、今まで偽陰性化した Hb を補うことができます。 Tf のみで陽性の被験者においては、腺腫性ポリープを含む病変発見者で、女性の方が男性よりも多く認められました。 詳しくは、パンフレットをご覧ください。	

## 「ヘモグロビン A1c(HbA1c)」の 国際標準化への変更のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。  
さてこの度、日本糖尿病学会より発表されたヘモグロビン A1c の国際標準化の基本方針  
に対応すべく、下記の検査内容を変更させていただきたくご案内いたします。  
何卒、ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

**変更日** : 平成 24 年 4 月 1 日 (日) 受付分より

**変更項目** : 1111 HbA1c

	(新)	(旧)
検査項目名	HbA1c(NGSP)	HbA1c
検査方法	酵素法	
基準値(単位)	4.6 ~ 6.2 %	4.3 ~ 5.8 %
糖尿病診断基準	6.5 %以上	6.1 %以上
所要日数	1 日	
実施料 (判断料)	49 点 (「D005」血液形態・機能検査の「9」) (血液学的検査判断料 125 点)	
備考	国際標準値(NGSP値)によるヘモグロビンA1cに変更。	

**開始日** : 平成 24 年 4 月 1 日 (日) 受付分より

**開始項目** : 1112 HbA1c(JDS)

検査方法	酵素法(計算法)
基準値(単位)	4.3 ~ 5.8 %
糖尿病診断基準	6.1 %以上
所要日数	1 日
実施料 (判断料)	計算法のため、無料扱いになります
備考	JDS 値は NGSP 値から換算してご報告致します。 JDS 値の併記は、平成24年4月1日~平成25年3月31日の期間と させていただきます。別資料の報告書印字見本をご参照ください。

※ 国際標準値(NGSP 値)のご報告を開始いたします。JDS 値のご報告も併せて実施  
します。日本糖尿病学会より、2012 年 4 月より国際標準値(NGSP 値)の使用を開始  
し、当面の間は JDS 値も併記するという基本方針が発表されました。当センターに  
おきましては、別紙の暫定的な併記方法をご用意いたしましたので、ご利用くださ  
いますようお願い申し上げます。

## 平成 24 年度診療報酬改定に伴う 末梢血液像の検体検査実施料の取扱についてのお知らせ

平素は、格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。  
平成 24 年度の診療報酬改定に伴い、末梢血液像の検体検査実施料の算定につきまして、下記の通りとさせていただきます。ご案内申し上げます。  
なお、自動機械法にて異常所見があった場合、目視による鏡検法を従来通り実施いたしますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

**変更日** : 平成 24 年 4 月 1 日 (日) 受付分より

**変更項目** : 4020 末梢血液像

	(新)	(旧)
実施料	① 基本(自動機械法)は、15点 ② 異常所見が認められ、目視による鏡検法を実施した場合は、25点	18点
報告様式	① 基本(自動機械法)の場合は、(旧)と変わらず血液像のタイトルの後に、各子項目を印字。 血液像 BASO EOSI NEUTRO LYMP MONO ② 目視による鏡検をした場合は、血液像の後に鏡検法を印字、その後に、各子項目を印字 血液像 *鏡検法* → 鏡検法の場合に表示 BASO EOSI NEUTRO (STA) } → 鏡検法の場合に報告 (SEG) } LYMP MONO なお、詳細につきましては、添付の報告書例をご参照ください	血液像 BASO EOSI NEUTRO LYMP MONO 血液像 BASO EOSI NEUTRO (STA) (SEG) LYMP MONO
明細書請求書	目視による鏡検をした場合は、鏡検法として10点の加算分を表示。 (鏡検法 25点=自動機械法 15点+鏡検加算分 10点)	18点で表示
レセプト請求	通常の自動機械法の場合は、15点でご請求下さい。報告書で鏡検法の記載ある場合は、お手数でも25点でご請求下さい。資料として『鏡検実施一覧』を報告書と同封いたしますので、ご利用ください。	18点で請求

## 検査内容変更のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。  
さてこの度、下記の検査項目内容を変更させて頂くことになりましたので、お知らせ致します。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

**変更日** : 平成24年4月2日(月)より変更

**変更項目** : 2544 17-KGS  
2545 17-KGS2分画

	(新)	(旧)
備考欄	凍結保存は避けてください。 &C	&C
備考	凍結不可注記の追加。	

**変更項目** : 1671 絨毛性ゴナドトロピン(HCG) [CLEIA]  
1670 絨毛性ゴナドトロピン(HCG) [CLEIA]

	(新)	(旧)
備考欄	トータルのHCGを測定しています。抗体はHCG-βを認識しています。絨毛性疾患の診断、予後管理に有用です。 <u>絨毛性疾患取り扱い規約第3版における推奨方法</u> で、測定感度は1.0mIU/mLです。	トータルのHCGを測定しています。抗体はHCG-βを認識しています。絨毛性疾患の診断、予後管理に有用です。特に、高値が予測される場合、または子宮外妊娠など至急を要する測定にお勧めします。
備考	最新版の絨毛性疾患取り扱い規約による情報内容に改めさせていただきます。	

**変更項目** : 4633 麻疹ウイルスIgM [EIA]

	(新)	(旧)
欄外	【麻疹ウイルスIgMの結果における注意事項】 伝染性紅斑(パルボウイルスB19感染)、デング熱、突発性発疹(HHV6感染)などでも麻疹ウイルスIgMが陽性となる症例があることが報告されています。診断においては臨床症状および他の検査法を加味し、総合的に判断してください。	
備考	左記の麻疹の検査診断に関する試薬添付文書中の情報を総合検査案内に追加いたします。	

変更項目： 2918 インフルエンザウイルス RNA

	(新)	(旧)
備考欄	咽頭ぬぐい液は凍結保存を避けてください。	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)
備考	凍結不可注記の追加。	

変更項目： 3239 淋菌およびクラミジアトラコマチス $\gamma$ RNA  
同時同定

	(新)	(旧)
備考欄	<u>凍結保存は避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)
備考	凍結不可注記の追加。	

変更項目： 2426 クラミジアトラコマチス DNA

	(新)	(旧)
備考欄	<u>分泌物は凍結保存を避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)
備考	凍結不可注記の追加。	

変更項目： 4884 クラミジアトラコマチス $\gamma$ RNA

	(新)	(旧)
備考欄	<u>凍結保存を避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)
備考	凍結不可注記の追加。	

変更項目： 2400 淋菌 DNA

	(新)	(旧)
備考欄	<u>分泌物は凍結保存を避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)
備考	凍結不可注記の追加。	

変更項目： 2973 淋菌 $\gamma$ RNA

	(新)	(旧)
備考欄	<u>凍結保存を避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)
備考	凍結不可注記の追加。	

**変更項目： 3167 便中ヘリコバクターピロリ抗原**

	(新)	(旧)
備考欄	<u>凍結保存を避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)
備考	凍結不可注記の追加。	

**変更項目： 4412 不規則性抗体(抗体同定・抗体価測定)**

	(新)	(旧)
備考欄	<u>血清 冷蔵</u> <u>血液 室温</u> (血液は変更ありません。)	血清 凍結 血液 室温
備考	保存温度の再設定。	

**変更項目： 2541 尿中Ⅳ型コラーゲン**

	(新)	(旧)
備考欄	<u>凍結保存を避けてください。</u>	(備考欄に左記の文章を追加いたします。)
備考	凍結不可注記の追加。	

**変更項目： 1707 アポリポ蛋白 A-I**  
**1708 アポリポ蛋白 A-II**  
**1710 アポリポ蛋白 C-II**  
**1711 アポリポ蛋白 C-III**  
**1712 アポリポ蛋白 E**

	(新)	(旧)
備考欄	アポリポ蛋白Bと重複依頼する場合は凍結保存を避けてください。	なし
備考	凍結不可注記の追加。	

**変更項目： 1709 アポリポ蛋白 B**

	(新)	(旧)
備考欄	凍結保存を避けてください。	なし
備考	凍結不可注記の追加。	



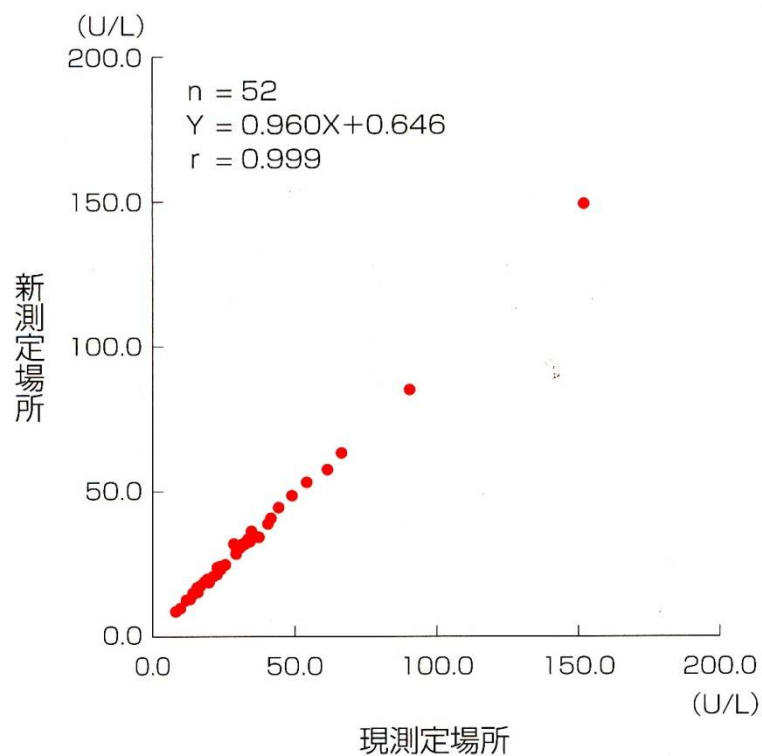
変更項目： 1177 アルミニウム(AI)

	(新)	(旧)
備考欄	e容器は凍結保存を避けてください。	なし
備考	凍結不可注記の追加。	

変更項目： 1055 アデノシンデアミナーゼ(ADA)

	(新)	(旧)
測定場所	&ヨ(エスアールエルMUQSラボラトリー)	&I(ファルコバイオシステムズ)
備考	測定実施場所の変更。その他、検査方法参考文献の変更。	

現測定場所と新測定場所の比較：



## 検査受託中止のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。  
この度、下記の検査項目の受託を中止させていただくことになりましたので、お知らせ致します。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

受託中止日：平成24年3月29日（木）より受託中止

中止項目： 1473 IGFBP-3I  
1496 抗利尿ホルモン(ADH)  
(アルギニンバソプレッシン)  
3110 尿中塩基性フェトプロテイン(尿中BFP)  
2939 HCV コア抗体〔RIA〕  
4132 PIVKA-II〔ラテックス凝集反応〕

備考	検査試薬製造中止のため。
----	--------------

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター  
TEL 0138-57-6571・FAX 0138-57-6580  
E-mail: hako-ken@sea.ncv.ne.jp